

第6学年 道徳

この指導案は、平成24年10月に6年生の各学級で行った授業実践で使用したものです。

1 主題名 みんなに奉仕する心 (4-(4) 勤労, 社会の奉仕)

2 資料名 うちら“ネコの手”ボランティア

3 本時の指導

- (1) ねらい 勤労の意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。
- (2) 防災教育としてのねらい ボランティア精神を育てる ことによって被災時に地域の人との連携や協力をしていこうとする心情を育てる。
- (3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点や支援
気づく	<p>1 阪神大震災について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災のボランティアの写真を見て当時の思いを話すことから、阪神大震災を身近なこととして捉える。 ・ どこで、どんなボランティア活動に取り組んでいるか知っていることや調べたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災時のボランティアの写真を見せる。 ・ 被災したときに支援してもらったことにつなげてから教材の紹介をする。 ・ 事前にボランティアについて調べさせておく。
深める	<p>2 「うちら“ネコの手”ボランティアを読んで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校へ避難したときの麻美の気持ちを考える。 ・ おばさんに怒られた時の気持ちを考える。 麻美の気持ちを吹き出しにして書く。 吹き出しの発表をする。 ・ どんな気持ちでクッキーを持って仮設住宅へ行こうとしたのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻美のつらい状況が考えられるようにする。 ・ 麻美がいやな思いをしてまでも仕事を続けようとする気持ちにまで触れていきたい。互いに助け合い、励まし合うことが、自分自身の学びや生きる力となること、さらにそれがよりよい地域社会の形成者となる基礎であることまで深めたい。 ・ 麻美が学校内の仕事だけでなく、引っ越した後までかかわろうとする尊い姿をとらえられるようにする。
見つける	<p>3 今後の生活の中で、できるボランティア活動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や学校のために進んで働いたことについて思い出させる。 ・ 人のためになる仕事をした経験と気持ちを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災の時のボランティアの<u>6種類の写真</u>を見せ、いろんな形でボランティアができることを教える。 ・ 自分の体験したことを想起させながらそのときの気持ちについて考えさせる。 ・ 日頃の自分振り返り、身近なところにも人のために役に立つ活動があることに気付かせる。
まとめる	<p>4 クラスの子どもの「震災の記憶」の作文を紹介する。</p> <p>NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ボランティア活動は、身近なところから、自分のできる範囲で、ともに励まし合い。支え合い、学び合う活動が行えればよいことを教え支援する。</u>